

「休み方改革 PT」の設置について

1 設置趣旨

休み方改革（休暇取得のあり方の見直し）を通じ、国民全体のワークライフバランス充実と生産性向上による日本経済の活性化の実現を目指し、プロジェクトチーム（PT）を設置する。

2 課題認識

- 日本には祝休日が多くあるものの、そこに観光需要が集中
 - ⇒ 観光地の混雑などにより、質の高い休暇を楽しむことができない
- 日本の労働生産性は、特にサービス産業において欧米主要国と比較して低い水準
 - ⇒ 繁忙期と閑散期の差が大きく、人員等の最適化が図りにくい
 - ⇒ コロナ禍で大打撃を受けており、アフターコロナを見据えた対応が必要
- 休み方改革の企業への浸透は不十分
 - ⇒ 従業員の休暇満足度の向上は、企業の生産性向上に寄与する

3 主な検討テーマ

- 祝日などの特定の日に国民が一斉に休むのではなく、休日設定を柔軟化
 - ・ 製造業の現場で、祝休日を平日に振り替えている事例の横展開
 - ・ 個人の祝日を設ける仕組みづくり
- 有給休暇の取得促進
 - ・ 企業活動との調和、調整
 - ・ 新しい休み方としての休暇型ワーケーションやブレジャーの活用
- 子どもが家族と休める仕組みづくり
 - ・ 夏休みなどに親が休暇を取得しやすいよう企業等が奨励
 - ・ 親の休暇に合わせ、子どもが平日に休むことができる仕組みづくり（オンデマンド授業などの新しい教育環境の整備なども重要）
 - ・ 休みの日に親子が一緒に出かけたり、普段できない体験ができる機会づくり

4 目指す方向性

- 国民全体の余暇満足度の向上
- ワークライフバランスの充実
- 観光を始めとした全ての産業の生産性向上
- 休み方改革を生かした日本経済の活性化の実現

5 活動内容案

- 全国各地の先進事例を調査・検討
- 政府や経済団体に対する提言